

施設類型別の基本方針（案）

平成 28 年 1 月 29 日

施設類型ごとの管理に関する基本的な考え方を定めます。

施設数、現況は「茂原市公共施設白書」の状況を記載しています。

1. 市民文化系施設	
【施設数、主な施設】	
・集会施設（15施設） 総合市民センター、福祉センター（5）、公民館（4）、青年館（5）	
・文化施設（2施設） 市民会館、東部台文化会館	
【現況】	・築30年以上が約半数、築20年以上が約8割を占める
【今後の方針】	
・利用頻度の低い施設は、他の施設への機能移転や小規模施設との複合化による面積の縮減を検討します。	
・老朽化が進んでいることから、予防保全型の維持管理を行い、施設の長寿命化を図ります。	
・人々の交流の場として、より利用しやすい環境の提供を目指します。	
・より効率的な管理運営方法や、設備の省エネ対策を検討します。	
・青年館は、地元への移管を推進します。	
・本納公民館は、老朽化に伴い本納支所との複合化により、施設面積の縮減をします。	

2. 社会教育系施設	
【施設数、主な施設】	
・図書館（1施設） 茂原市立図書館	
・博物館等（2施設） 美術館・郷土資料館、千葉三郎記念館	
【現況】	・旧図書館は新耐震以前の建築物で、耐震診断及び耐震補強は未実施 ・美術館・郷土資料館は築20年以上経過、千葉三郎記念館は築30年以上経過
【今後の方針】	
・市の歴史や文化の情報拠点として、機能の充実を図ります。	
・設備における省エネ対策など維持管理費の削減に努めます。	
・旧図書館は河川の氾濫による浸水と老朽化に起因して、平成26年に移転済みのため、旧図書館の今後の方向性について検討します。	
・美術館・郷土資料館は、施設利用を向上させるための取り組み等を検討するとともに、定期的な点検により予防保全に取組み、施設の長寿命化を図ります。	

3. スポーツ・レクリエーション系施設

【施設数、主な施設】

- ・スポーツ施設（2施設）
市民体育館、富士見公園庭球場事務所

【現況】 ・築30年以上が経過している。

【今後の方針】

- ・健康維持並びに体力増進に寄与する場として、質の向上を図ります。
- ・施設及び備品の老朽化が進行しているため、機能改善も含めた改修を検討します。
- ・より効率的な管理運営方法や、設備の省エネ対策を検討します。

4. 学校教育系施設

【施設数、主な施設】

- ・小学校（14校）
- ・中学校（7校）
- ・その他教育施設（2施設）：学校給食共同調理場、社会教育センター

【現況】 ・全体的に老朽化が進行している。
・小中学校は耐震補強工事済み。

【今後の方針】

- ・小・中学校は、教育及びコミュニティの場として、また、災害時の避難場所としての機能も有していることから、その地区の拠点となる施設として、空き教室の有効活用や他の公共施設との複合化、集約化を検討します。
- ・少子化による児童・生徒数の減少を踏まえ、小中学校の適正規模を設定し、学校施設の統廃合推進など効率的な施設のあり方を検討します。
- ・学校施設は老朽化も進んでいるため、長寿命化の検討を行い更新費用の平準化を図ります。
- ・管理運営費の見直しや設備における省エネ対策を検討します。
- ・中央学校給食共同調理場は施設が老朽化しているため、新たに学校給食調理場並びに単独調理場4校を集約した新給食共同調理場の建設を予定しています。建設及び運営については民間活力の導入等による効率的な方法を検討します。

5. 子育て支援施設

【施設数、主な施設】

- ・ 幼稚園（4 施設）
- ・ 保育所（10 施設）
- ・ 学童クラブ（2 施設）

【現況】

- ・ 比較的規模の小さな施設で、築 30 年以上の老朽化した建物が多い。
- ・ 耐震診断及び耐震補強されていない建物も見受けられる。

【今後の方針】

- ・ 安全安心な保育の実現のために適正な施設の維持管理に努めます。
- ・ より効率的な運営方法や、設備における省エネ対策を検討します。
- ・ 幼稚園・保育所については、民間事業者の意向を尊重しながら、民間への移行を検討します。
- ・ 認定こども園の設立の推進及び、民間事業者による実施を支援します。
- ・ 木造の保育所については、老朽化の度合いや安全面を考慮し廃止する方向で検討します。
- ・ 学童クラブは、小学校の空き教室等での設置を検討します。

6. 保健・福祉施設

【施設数、主な施設】

- ・ 保健施設（1 施設）：保健センター
- ・ 障害福祉施設（2 施設）：心身障害者福祉作業所、ふれあい広場ひびき
- ・ 高齢福祉施設（1 施設）：老人いこいの家

【現況】

- ・ 保健センターは築20年以上経過している。
- ・ そのほかの施設も老朽化が進行している。

【今後の方針】

- ・ 健康保持、福祉の向上を図るため、質の向上を図ります。
- ・ 定期的な点検により、予防保全に取り組み、施設の長寿命化を図ります。
- ・ 施設の老朽化度合いや利用状況等を勘案し、運営形態や必要性に応じて施設の統廃合や民間への譲渡を検討します。
- ・ より効率的な運営方法や、設備における省エネ対策を検討します。

7. 行政系施設	
【施設数、主な施設】	
<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎等（2施設）：市庁舎、本納支所 ・その他行政系施設（3施設） 赤目川土地改良区事務所、シルバー人材センター、六ツ野リサイクルセンター 	
【現況】	・市庁舎は市内で最大規模の施設、他は小規模。どの施設も劣化が生じ始めている。
【今後の方針】	
<ul style="list-style-type: none"> ・市庁舎は行政サービスの提供と行政事務を行う場として、また防災拠点としての機能を維持し、施設の長寿命化を図ります。また、設備についても計画的な整備に努めます。 ・市庁舎は、その規模を活かして複合化・集約化の受け皿となるべく、施設のあり方を検討します。 ・本納支所は、市民サービスを維持したまま他の施設との複合化を行います。 ・設備における省エネ対策など維持管理費の削減に努めます。 	

8. 公営住宅	
【施設数、主な施設】	
・市営住宅（11施設）	
【現況】	<ul style="list-style-type: none"> ・総戸数：759戸（平成25年度の平均空室率：約50%） ・築30年以上経過した住宅は、面積比で約8割を占める
【今後の方針】	
<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に老朽化が進んでいるため、適切な維持管理を行うことにより、安全性を確保しつつ長寿命化と維持管理コストの削減を図ります。 ・新耐震基準以前の住宅や利用率が低い施設については、廃止を前提として優先的に政策空き家とする等の検討を行い、施設数の削減を図ります。 	

9. 公園	
【施設数、主な施設】	
・公園（1施設）：萩原公園管理事務所	
【現況】	・平成26年12月事務所及びトイレ改築工事済み
【今後の方針】	
・効果的な維持管理や保全・改修を行うことによって、長寿命化を図ります。	

10. 供給処理施設

【施設数、主な施設】

- ・農業集落排水処理施設（5施設）
- ・下水処理施設（7施設）
- ・内水対策等の排水機場（4施設）

【現況】

- ・下水処理施設は築40年を超えているものもあり、老朽化対策が急がれる。
- ・定期的な点検の実施により、逐次劣化状況を把握しておくことが必要である。

【今後の方針】

- ・予防保全型の修繕を実施することによって、施設・設備の長寿命化を図ります。
- ・設備の更新費用には多額の費用が掛かることから、定期的な点検及び計画的な修繕を行い、適正な維持管理を推進します。
- ・将来需要に見合った適正規模を確保します。
- ・設備における省エネ対策など維持管理費の削減に努めます。

11. その他施設

【施設数、主な施設】

- ・その他（2施設）：農産物直売所（旬の里ねぎぼうず）、茂原駅南口公共駐車場

【現況】

- ・いずれの施設も比較的新しい施設であるため、定期的な点検を行って予防保全に取り組む。

【今後の方針】

- ・施設の利活用のしやすさについて検討を行います。
- ・予防保全型の修繕を実施することによって、施設・設備の長寿命化を図るとともに、より効率的な管理運営方法を検討します。
- ・行政が施設運営する必要があるかどうかを検討し、必要性が低い場合は、保有量の縮減に努めます。

【インフラ施設（平成 26 年 3 月 現在）】

道路
【現況】
<ul style="list-style-type: none">・一般道路：総延長約 805km、面積約 443 万 m²・自転車歩行者道路：実延長約 13km、面積約 44,000 m²・改良率：75.1%、舗装率：93.9%
【今後の方針】
<ul style="list-style-type: none">・『茂原市総合計画後期基本計画』におけるバリアフリー化に配慮した道づくり、景観形成に配慮した道路管理、緊急車両が進入できる道路整備、防災や災害時の対応等に向けた、上下水道やガス管等の道路占用物の配置状況を把握するための取り組みの 4 つの推進項目に基づき、道路の整備を行います。・道路の維持管理は、予防保全型の維持管理手法を取り入れ、道路の重要性に応じて維持管理水準を変えるなど、優先順位を定め、財政状況を勘案しながらコストの縮減や平準化に努めます。・主要な道路や道路付属施設等について、国が定める点検実施要領に基づき、定期的な点検を実施します。その他の生活道路等については、日常パトロールによる点検を実施します。

橋りょう
【現況】
<ul style="list-style-type: none">・総延長：約 2.2km、総面積：約 14,500 m²、177 橋
【今後の方針】
<ul style="list-style-type: none">・『茂原市橋梁長寿命化修繕計画』に基づき、優先度の高いものから順次補修を進めます。・橋梁を良好な状態に保つため、定期的なパトロールを実施し、劣化損傷の把握に努めます。・日常的な維持管理・点検を行うことで予防保全型の維持管理を徹底し、修繕・架替えに係る事業費の大規模化及び高コスト化を回避し、経費の縮減を図ります。

○上水道 ※長生郡市広域市町村圏組合による管理・運営

下水道・農業集落排水
【現況】
<ul style="list-style-type: none">・下水道総延長：約 198km・農業集落排水総延長：約 93km
【今後の方針】
<ul style="list-style-type: none">・日常点検及び定期的な分解修理や法定点検を実施し、消耗品などの取替えを行い、効率的・継続的に機能維持を図っていきます。・長寿命化に係る計画を策定し、計画に基づいた維持管理・修繕を実施します。